

液晶表示マネージャー ユーザズマニュアル

2010年12月 第1.0版

ラトックシステム株式会社
RATOC Systems, Inc.

製品概要

主な特徴

HDDに記録された内容に関する情報を、トレイフロントパネルのメモリ液晶に表示するアプリケーションです。パソコンからトレイが取り外された状態でも、メモリ液晶に表示された情報でディスクの内容を確認することができます。
※複数パーティションには対応していません。先頭のパーティションのみが対象になります。

対応OS

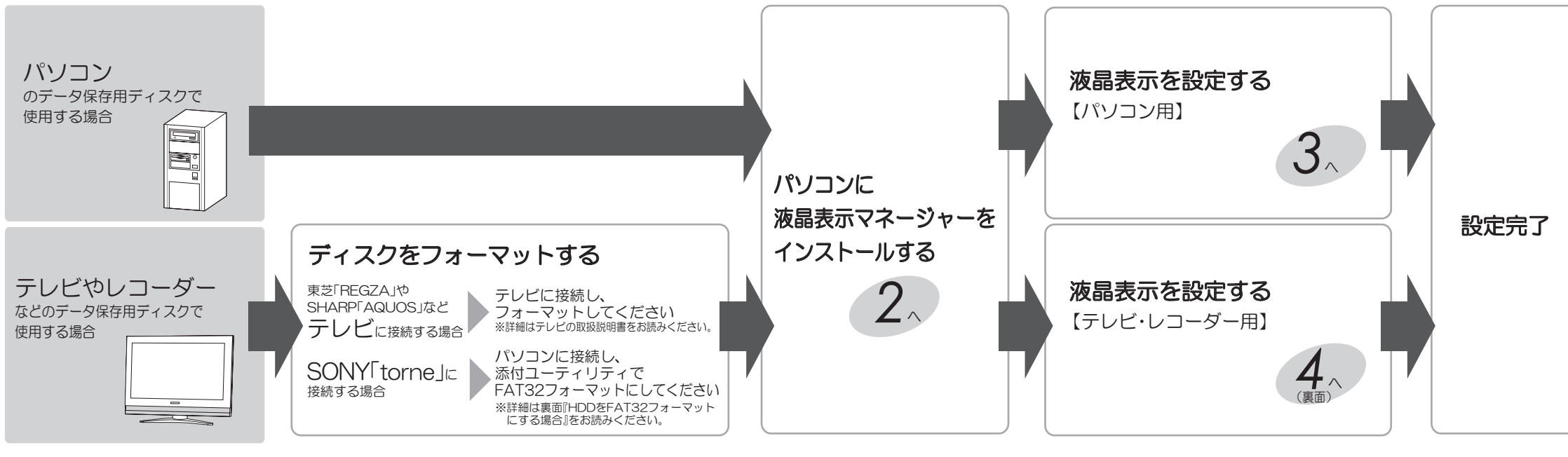
Windows 7/Vista/XP
※32ビット/64ビット両対応。
※各OSの最新Service Packがインストールされた状態でご利用ください。

対応製品

メモリ液晶を搭載した弊社製SATAリムーバブルケース
※リムーバブルケース・トレイの両方が液晶表示に対応している必要があります。

1 はじめに

『液晶表示マネージャー』は、パソコンのデータ保存用ディスク、およびテレビ(東芝「REGZA」やSHARP「AQUOS」など)・レコーダー(SONY「torne」)のデータ保存用ディスクに使用できます。用途によって設定手順が異なりますので、必ず下記を参照のうえ設定してください。



2 インストール

2-1 インストール

※インストール前にウイルスチェックのソフトウェアは外してください。セキュリティレベルが高い場合、インストールできない場合があります。

1. パソコンを起動し、添付のCD-ROMをCDドライブに挿入します。

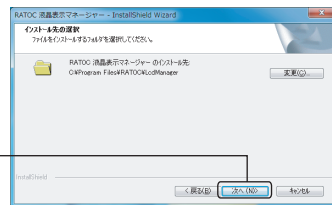
2. メニュー画面が表示されます。

【液晶表示マネージャー】をクリックします。



4. インストール先の選択画面が表示されます。

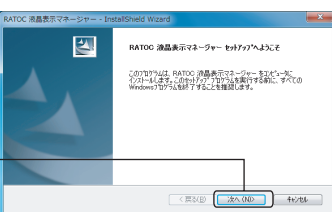
【次へ】をクリックします。



インストール先を変更したい場合は【変更】をクリックして任意のフォルダを選択してください。

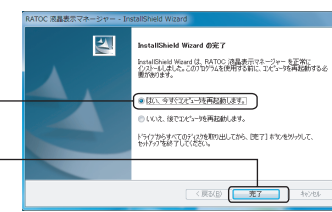
3. "RATOC 液晶表示マネージャー セットアップへようこそ"画面が表示されます。

【次へ】をクリックします。



5. インストールは完了です。

"はい、今すぐコンピュータを再起動します。"を選択します。

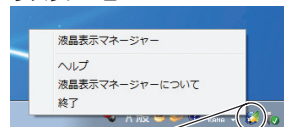


【完了】をクリックします。

2-2 設定画面を開く

液晶表示マネージャーの起動中は、タスクバーに右記のアイコンが表示されます。アイコンを右クリックすると、タスクメニューが表示され、各種設定・操作ができます。

タスクメニュー



- 【液晶表示マネージャー】は常駐ソフトです。
- 設定後にパソコンの再起動は必要ありません。



詳しい使用方法は、タスクメニュー内の「ヘルプ」を参照してください。

【出荷時の液晶画面】

出荷時の液晶画面は、イラストが表示されています。液晶表示マネージャーをインストールしたパソコンで使用すると、表示は更新されます。更新された表示を元の表示に戻すことはできません。



3 液晶表示を設定する【パソコン用】

パソコンのデータ保存ディスクに使う

リムーバブルケースなどで、パソコンのデータ保存用ディスクの内容を液晶表示する場合は、下記の手順で設定してください。

NTFS/exFATフォーマット HDD

3-1 液晶表示画面の説明

【文字情報表示画面】



【QRコード表示画面】



※複数パーティションには対応していません。先頭のパーティションのみが対象になります。

3-2 設定方法

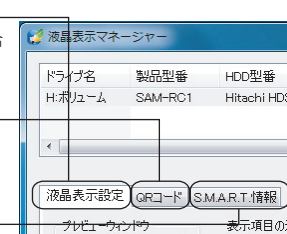
タスクメニューから【液晶表示マネージャー】を選択します。

【液晶表示設定】

液晶画面に文字を表示する場合の設定をおこないます。
設定方法 → 3-2-1へ

【QRコード】
液晶画面にQRコードを表示する場合の設定をおこないます。
設定方法 → 3-2-2へ

【SMART情報】
SMARTの値、温度及び健康状態を表示します。
設定方法 → 3-2-3へ



3-2-1 液晶画面に文字を表示する場合

【液晶表示設定】タブを開きます。

※画面はNTFSフォーマットの場合です。



- 液晶表示するドライブを選択してください。ドライブ情報が表示されない場合は、【ドライブ情報の更新】をクリックしてください。
- データ入力エリアに表示する内容を選択してください。選択リストの「文字の入力」「ドライブ名の表示」「ボリュームの表示」「HDDの型番」から選択できます。任意の文字を表示するには「文字の入力」を選択してください。(初期値は1行目に「ドライブ名」、2行目に「HDDの型番」です。)
- 液晶に表示させたい文字を入力してください。半角13文字/全角6文字、4行までの任意の文字を入力できます。
- HDDの健康状態を液晶に表示させる場合はチェックしてください。
- OS起動時に液晶表示マネージャーを起動する場合はチェックしてください。常駐しない場合はチェックをはずしてください。
- 【液晶更新】をクリックすると、液晶表示の内容をプレビューウィンドウの内容に更新します。



3-2-2 液晶画面にQRコードを表示する場合

【QRコード】タブを開きます。



- ① データ入力エリアにQRコードに変換するテキストを入力してください。最大で全角397文字を入力できます。携帯電話のバーコードリーダーを使用する場合は、最大で全角167文字までを推奨します。
- ② 【液晶更新】をクリックすると、液晶画面のQRコードをプレビューウィンドウの内容に更新します。

下記の項目は使用環境に合わせて設定してください。

【表示モード】

QRコードの大きさを設定します。セルが大きいほど読み取りやすくなります。セルサイズを小さくすると読み取りにくくなりますが、多くの文字を入力することができます。※docomoの携帯電話付属のバーコードリーダーでは、「1ドット/セル」での使用は、推奨されていません。

【誤り訂正レベル】

QRコードが汚れているたり破損している場合、コード自身でデータを復元する機能のレベルです。誤り訂正レベルを上げると入力文字数は少なくなります。汚れや光の反射がある場合にも読み取りやすくなります。※SoftBankの携帯電話付属のバーコードリーダーでは、「低(7%)」での使用は、推奨されていません。

初期値※変更可能です。表示モード:4ドット/セルを選択した場合、誤り訂正レベル:中 表示モード:1ドット/セルを選択した場合、誤り訂正レベル:最高

QRコードが読み取れない場合は・・・

環境によりQRコードが読み取れない場合があります。反射/映りこみや、液晶画面の汚れなどの場合は下記の方法を試してください。

反射や映り込みでQRコードが読み取れない。 →添付の低反射フィルムを液晶画面に貼付してください。 →パソコンの設置位置や、照明のあたり方を調整してください。

液晶画面が汚れている。 →液晶画面の汚れを柔らかい布などで拭き取ってください。 ※強く拭かないでください。

3-2-3 S.M.A.R.T情報の確認方法

※HDDがS.M.A.R.T.コマンドに対応している必要があります。

【S.M.A.R.T.情報】タブを開きます。



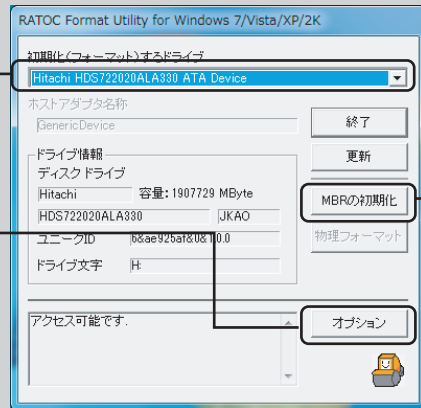
- ① 設定した温度に達した時に警告を表示したい場合は、チェックを入れてください。チェックボックスにチェックを入れると、設定温度に達した時に警告を表示します。初期値は50度です。
- ② S.M.A.R.T.情報を自動で更新する場合は、チェックを入れてください。SMART情報を約1分ごとに自動取得し、HDDの温度情報や液晶画面の健康状態表示を更新します。

OSで省電力モード設定(スタンバイ、休止、スリープ等)をしている場合、チェックボックスのチェックを外し、【ドライブ情報の更新】をクリックしてください。自動更新を行うと定期的に液晶表示マネージャーが動作するため、省電力モードに移行できません。

HDDをFAT32フォーマットする場合

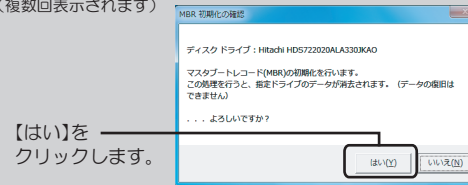
- 1. 添付のCD-ROMをパソコンのCDドライブに挿入します。
- 2. 【フォーマットユーティリティ】をクリックしてインストールします。
- 3. 【スタート】-【すべてのプログラム】-【RATOC Format Utility】-【RATOC Format Utility】をクリックします。

- 4. 設定画面が表示されます。
 - ① フォーマットするドライブを選択します。
 - ② 【オプション】をクリックします。(オプション設定画面が開きます)
 - ③ チェックボックスにチェックを入れます。
 - ④ 【OK】をクリックします。



SONY「torne」に接続してデータ保存ディスクとして使用するためには、HDDをFAT32形式にフォーマットする必要があります。添付の「フォーマットユーティリティ」でフォーマットしてください。

- 5. 【MBRの初期化】をクリックすると、確認画面が表示されます。(複数回表示されます)
- 6. フォーマットを開始します。
- 7. 完了画面が表示されます。



フォーマットが完了しました。



テレビやレコーダーの録画データ保存に使う

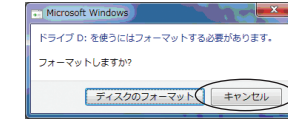
REGZA/AQUOSフォーマット・FAT32フォーマット HDD

外付けHDケースなどで、東芝「REGZA」やSHARP「AQUOS」、SONY「torne」などのデータ保存用HDDの内容を液晶表示する場合、下記の手順で設定してください。

【REGZA/AQUOSフォーマットのHDDについて】

※REGZA/AQUOSなどでフォーマットしたHDDは、パソコンからの読み書きはできません。液晶表示マネージャーでのメモリ液晶への表示操作は可能です。 ※REGZA/AQUOSフォーマットのHDDは、最初に液晶表示マネージャーで情報入力したパソコンからのみ表示を更新できます。それ以外のパソコンに接続した場合、液晶表示マネージャーがインストールされていても、表示の読み込みや更新はできません。

フォーマットするとデータは消去されます。キャンセルしてください。



REGZA/AQUOSフォーマットされたHDDをWindows PCに接続すると左記のメッセージが表示されます。フォーマットをおこなわず、キャンセルしてください。

使用するHDDは、環境に適した形式でフォーマットしたものをお使いください。フォーマットについてはテレビの取扱説明書をご参照ください。 FAT32形式でフォーマットが必要な場合は添付のフォーマットユーティリティを使用してください。

4-1 液晶表示画面の説明

【文字情報表示画面】



テキスト表示エリア 設定方法 → 4-2-1へ

HDD空き容量レベルメータ 空き容量を10段階のレベルメータで表示します。表示は約1分ごとに自動更新されます。

HDD空き容量/全容量 表示は約1分ごとに自動更新されます。

※テレビやレコーダーに接続しているときは、レベルメータとHDD空き容量/全容量のみが更新されます(REX-SATA Mシリーズのみ)。

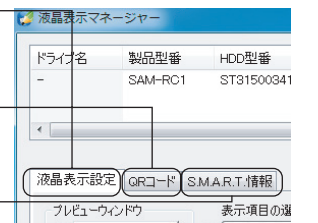
4-2 設定方法

タスクメニューから【液晶表示マネージャー】を選択します。

【液晶表示設定】 液晶画面に文字を表示する場合の設定をおこないます。 設定方法 → 4-2-1へ

【QRコード】 REGZA/AQUOSフォーマットの場合、QRコードの設定はできません。FAT32フォーマットの場合は(3-2-2)を参照してください。

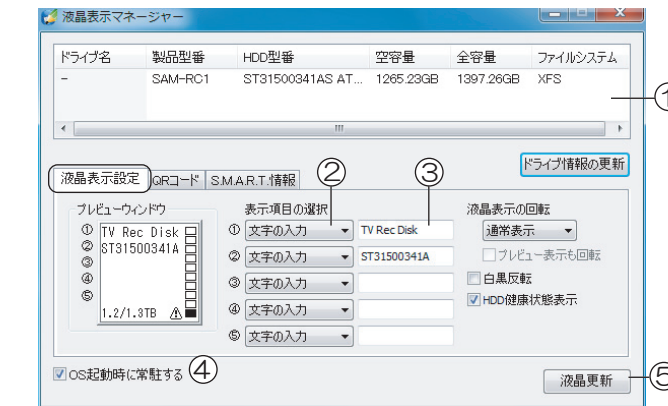
【S.M.A.R.T.情報】 S.M.A.R.T.の値、温度を表示します。 設定方法 → 4-2-2へ



4-2-1 液晶画面に文字を表示する場合

【液晶表示設定】タブを開きます。

※画面はREGZA/AQUOSフォーマットの場合です。

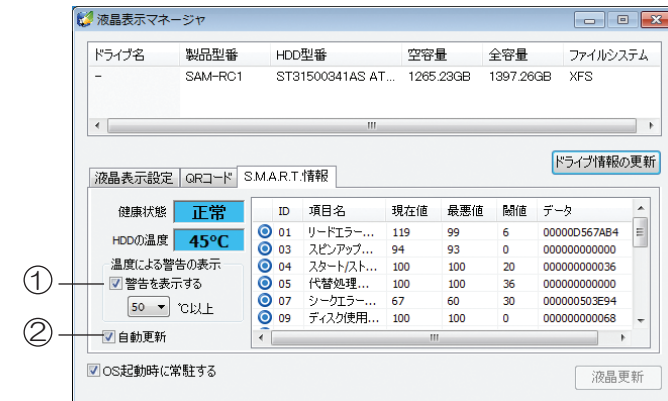


- ① 液晶表示するドライブを選択してください。ドライブ情報が表示されない場合は、【ドライブ情報の更新】をクリックしてください。
- ② FAT32フォーマットの場合、データ入力エリアに表示する内容を選択してください。選択リストの「文字の入力」「ドライブ名の表示」「ボリュームの表示」「HDDの型番」から選択できます。任意の文字を表示するには「文字の入力」を選択してください。(初期値は1行目に「ドライブ名」、2行目に「HDDの型番」です。) ※REGZA/AQUOSフォーマットの場合、「文字の入力」のみになります。
- ③ 液晶に表示させたい文字を入力してください。半角11文字/全角5文字、5行までの任意の文字を入力できます。(REGZA/AQUOSフォーマットの場合、初期値は1行目に「TV Rec Disk」、2行目に「HDDの型番」です。)
- ④ OS起動時に液晶表示マネージャーを起動する場合はチェックしてください。常駐しない場合はチェックをはずしてください。
- ⑤ 【液晶更新】をクリックすると、液晶表示の内容をプレビューウィンドウの内容に更新します。

4-2-2 S.M.A.R.T情報の確認方法

※HDDがS.M.A.R.T.コマンドに対応している必要があります。

【S.M.A.R.T.情報】タブを開きます。



- ① 設定した温度に達した時に警告を表示したい場合は、チェックを入れてください。チェックボックスにチェックを入れると、設定された温度に達した時に警告を表示します。初期値は50度です。 ※テレビやレコーダーに接続しているときは、警告は表示されません。
- ② S.M.A.R.T.情報を自動で更新する場合は、チェックを入れてください。SMART情報を約1分ごとに自動取得し、HDDの温度情報や液晶画面の健康状態表示を更新します。 ※テレビやレコーダーに接続しているときは、HDDの健康状態は更新されません。